



倉庫業における展望調査

倉庫の精度を 向上させる

データと可視化が最高の
パフォーマンスを推進する

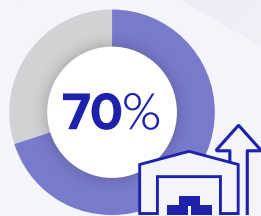
倉庫の経営陣が、主要な業績目標に向けて
データインテリジェンスを活用し、課題を克服
し、現代のダイナミックな環境で手腕を發揮
している様子をご覧ください。



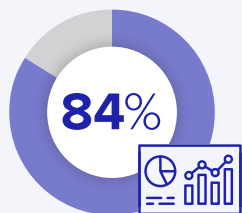
移動中の精度

倉庫事業者は、今すぐモダナイゼーションを図るか、それとも競争に取り残されるリスクを取るかという重大な選択に直面しています。リスクはかつてないほど高まっており、混乱のさなかで業務を最適化し、効率を高めるための迅速なアクションが要求されています。スピード、回復力、精度が不可欠です。人手不足、配送遅延、在庫の不正確さは費用のかかる問題なので、従業員を活性化し、倉庫業務を変革するソリューションの必要性が浮き彫りになっています。適切なテクノロジーと戦略に投資することで、倉庫業務は敏捷性と効率性を維持し、将来の需要に対応できる状態を維持できます。

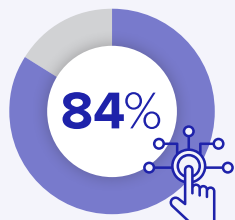
経営陣の見解ではモダナイゼーションが優先事項である



業務のモダナイゼーションが最優先事項であり、その実行を迫られていると回答



業務の可視化の向上により、意思決定を自動化でき、スタッフと資産両方をより有効活用できるようになると回答



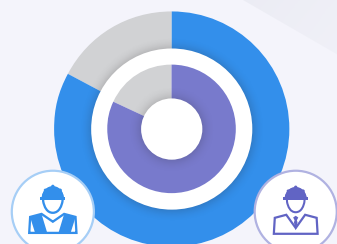
オンデマンドエコノミーで競争力を維持するには、新しいテクノロジーの導入が不可欠であると考えている

効率を低下させる生産性の課題



在庫切れと在庫の不正確さが、生産性に影響を与える大きな課題であると考えている

先進的な在庫ソリューションに対する共通の需要



精度と可用性を確保するには、より優れた在庫管理ツールが必要であると考えている

サプライチェーンの成功に対する重要な課題

経営陣が特定した上位3つの課題：

1 テクノロジーとインテリジェントオートメーションによるイノベーション

2 変化する顧客サービスの期待を満たす

3 適切な在庫レベルの予測

運輸の可用性とコストのバランスを取る

エンドツーエンドの可視化の実現

リバースロジスティクスの管理

大きな利害問題に立ち向かう 期待を満たせないことによるコスト

83%

の経営陣は、サービス内容合意書の不履行が、迅速な対応を必要とする重大な金銭的負担をもたらすと考えている

期待を満たせなかったためにコストが急増すると、倉庫は時代遅れの慣行を続ける余裕はなくなります。顧客の期待が高まるにつれ、サービス内容合意書（SLA）の不履行によるコストはますます大きくなります。経営陣の10人中8人以上が、納期を守らなかった場合の財務的影響を認識しており、パフォーマンス向上の必要性と需要の変化への迅速な対応能力を重視しています。

倉庫業務には進歩している部分もありますが、課題は残っています。仕分け、梱包、注文ピッキングなどの手動プロセスは、引き続きコストのかかるミスにつながっており、人手やスキルの不足によって効率がさらに下がります。受注処理などの領域では改善が見られていますが、受注精度や返品処理に関する問題は依然として重大な課題となっています。

後退を避けるために、倉庫は業務を効率化し、従業員の生産性を高め、人的資源と技術的資源の両方を最適化するソリューションに投資する必要があります。そうすることで、業務の敏捷性、一貫したサービスの卓越性、進化する顧客の期待との整合性が保証されます。

入り交じった結果：移行するSLA指標

プラスの利点：経営陣が挙げる有意義な改善を示す領域

前年比でわずかな改善が見られるものの、依然として最大の課題である重要な懸念領域

55%

51%

フィルレート

56%

47%

受注処理

43%

42%

注文処理の所要時間

マイナスの傾向：経営陣が特定する懸念領域

課題が前年比で増加しており、さらなる注力が必要な領域

37%

41%

受注精度

34%

36%

返品処理

31%

32%

納期の日時に間に合わない

2023年 2024年



需要への対応：
顧客の期待に適應する

76%

の経営陣は、顧客の需要の変化に適應しなければならぬという圧力がかかっていることを認識

地域別：

74%

アジア太平洋

72%

ヨーロッパ

76%

中南米

81%

北米

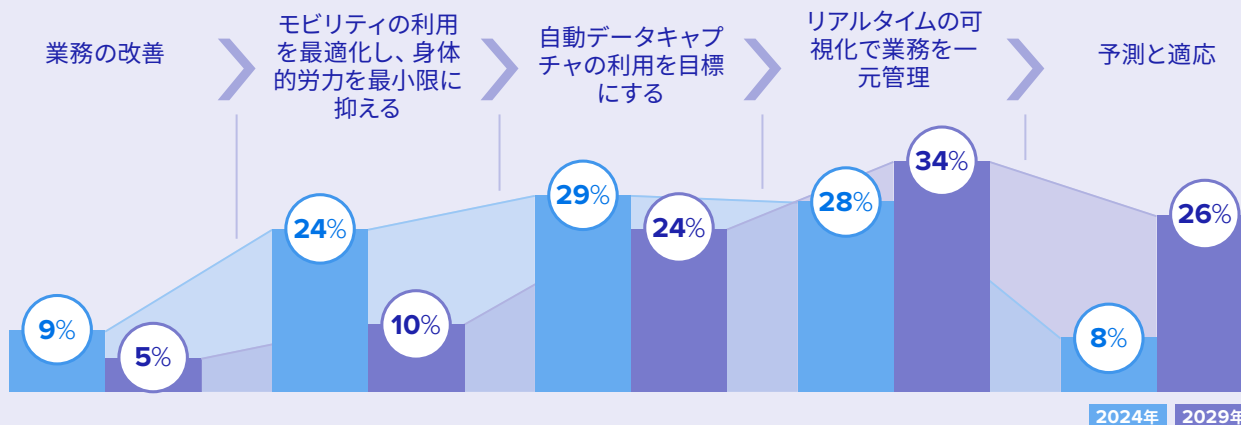
卓越性追求のための進化 倉庫業務の变革

倉庫業の未来は、絶えず変化する状況に遅れずについていくための、絶え間ない進化にかかっています。業務の複雑さの高まりや時代遅れのテクノロジーといった日常的な課題は、生産性と効率を低下させます。スタッフと経営陣はともに、オペレーショナルエクセレンスを達成し、長期的なビジネス目標を実現するためには、近代的な倉庫テクノロジーへの戦略的投資が不可欠だと考えています。

先手を打つために、経営陣はこれらの課題に対処し、サステナブルな優位性を提供する高度なテクノロジーソリューションを優先しています。今後5年間で、多くの企業がサイロ化された反応型プロセスから、リアルタイムの可視化と自動データキャプチャによる統合型オペレーションへの移行を計画しています。データに基づくインサイトを活用して意思決定を自動化することで、倉庫は敏捷性、効率、装備を強化し、複雑さに対処し、新たな機会を活用することができます。

しかし、前途に障害がないわけではありません。スタッフは人員不足と現行テクノロジーの信頼性に懸念を表明しており、85%は、新たな投資がなければ、重要なビジネス目標に到達できない状態が続くだろうと指摘しています。経営陣も同様に、イノベーションの導入はもはや避けられないことを認識しており、オンデマンドエコノミーで競争力を維持することが必要です。

未来の定義：倉庫業務に関する経営陣の5年間の展望



懸念への対応：人員配置、テクノロジー、信頼性

スタッフの同意率：

69% ↑ 前年比1ポイント増
倉庫の現場に適格なスタッフが不足している

70% ↑ 前年比6ポイント増
テクノロジーデバイスが使いにくい

72% ↑ 前年比5ポイント増
テクノロジーデバイスの信頼性とアクセス



進化に向けた調整：
現在の課題と将来の目標のバランスを取る

85%
のスタッフは、倉庫業務を強化するためのテクノロジーに投資しなければ、ビジネス目標を達成できないという懸念を表明している

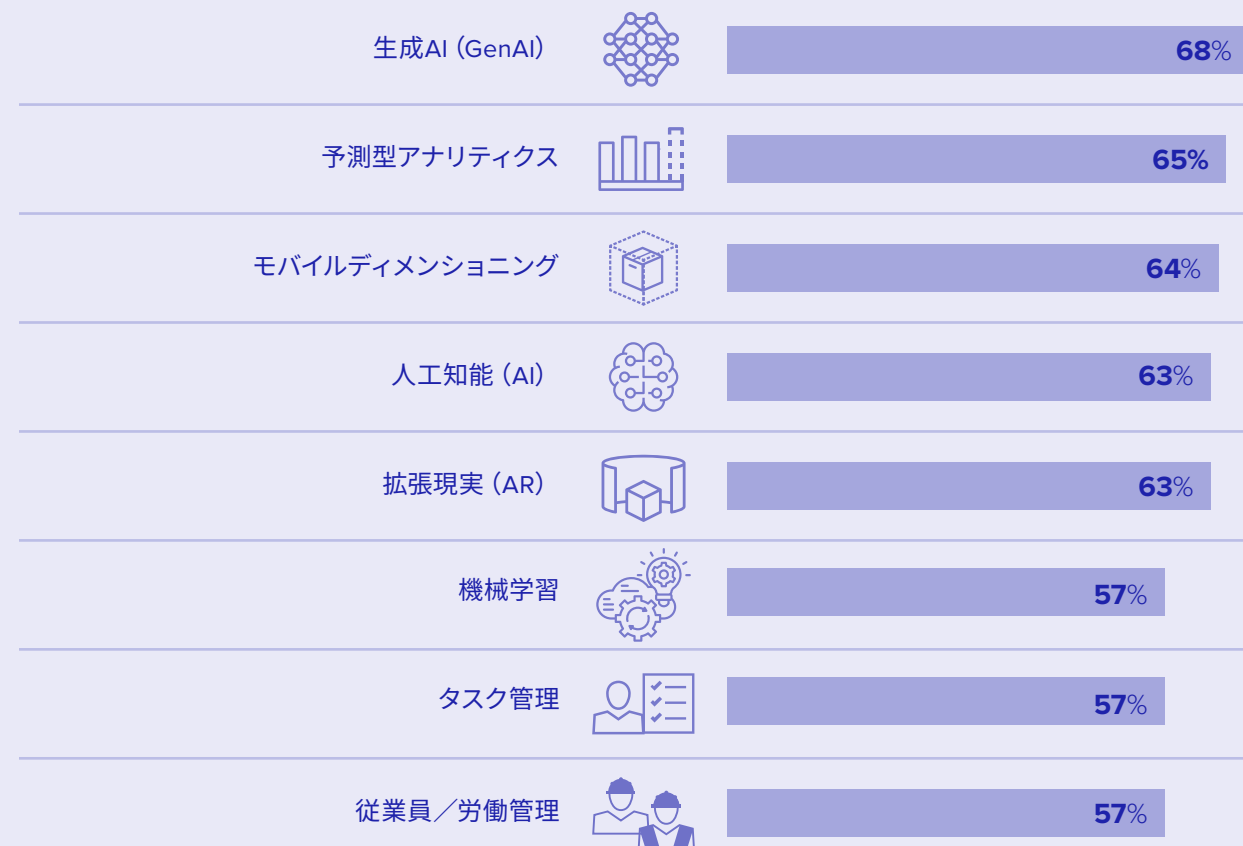
上昇傾向にあるテクノロジー利用 倉庫イノベーションの次なる波

ペンと紙を使って倉庫業務を管理する方法は、精度と効率を優先させるデジタルソリューションに取って代わられています。生産性と効率の目標がかつてないほど重要になっているなか、経営陣はワークフローの効率化、エラーの最小化、生産性向上のために、高度な自動化とリアルタイムのデータ分析に取り掛かっています。

自動化とデータに基づくインサイトにより、倉庫は最適化されたパフォーマンスの中心に変わりつつあります。現代のテクノロジーを統合することで、倉庫の敏捷性と即応性が向上し、業務の精度と卓越したサービスのバランスが取れるようになります。このようなイノベーションにより、チームは迅速に適応し、進化し続ける需要に対応し、急速に変化する業界における卓越性の新たな基準を打ち立てることができます。

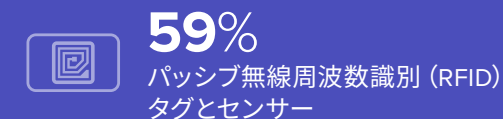
AI、アナリティクス、その他：ソフトウェアの変革

経営陣は1~5年以内にソフトウェアテクノロジーを導入する予定



センサーが急増する見込み

経営陣は1~5年以内にテクノロジーを導入する予定



基準を引き上げる 精密な倉庫業務

倉庫が精度に基づいた業務へと移行するにつれ、テクノロジーが、卓越性を実現するための基盤になっています。経営陣は、リアルタイムデータ、自動化、高度なアナリティクスを活用して、変化する需要に対応できる敏捷で即応性の高い環境を構築しています。精度と適応力に根差したこれらの進歩により、倉庫は課題を克服し、将来の機会を確実につかめるようになります。

本調査について

Zebra Technologiesは、倉庫や流通センターにおける業務を形成するトレンドとテクノロジーを調査するために、グローバルな研究調査を委託しました。Azure Knowledge Corporationがオンラインで実施したこの調査では、製造、小売、運輸、物流、卸売流通の1,700人以上のスタッフと経営陣からインサイトが収集されました。

このシリーズは以下の3つの主要テーマに焦点を当てています。



倉庫の精度を向上させる
データと可視化が最高のパフォーマンスを推進する



協働型インテリジェンスの台頭
テクノロジーへの親近感が高まっている現場スタッフ



集中型倉庫
テクノロジー、効率、イノベーションの連携

倉庫業における展望調査のシリーズ全体をご覧になる場合は
zebra.com/warehousingvisionstudyをご覧ください。

Zebraがお客様の倉庫のパフォーマンスをどのように支援できるかについては、
zebra.com/warehouseをご覧ください。

Zebra Technologiesの紹介

Zebra (NASDAQ: ZBRA) は、最前線のあらゆる現場スタッフと資産を可視化し、つながり、完全に最適化することにより、オンデマンドエコノミーにおける企業の成功を支援します。100カ国以上の10,000社を超えるパートナーから成るエコシステムを有するZebraは、Fortune 100企業の94%を含むあらゆる規模の顧客に、ワークフローをデジタル化/自動化するハードウェア、ソフトウェア、サービス、ソリューションの定評あるポートフォリオを提供しています。



北米本社および世界本社
+1 800 423 0442
inquiry4@zebra.com

アジア太平洋本社
+65 6858 0722
contact.apac@zebra.com

EMEA本社
zebra.com/locations
contact.emea@zebra.com

中南米本社
zebra.com/locations
la.contactme@zebra.com

ZebraおよびZebraヘッドグラフィックは、世界の多くの国々で登録されたZebra Technologies Corporationの商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。©2024 Zebra Technologies Corporation and/or its affiliates.